

## 【只見町】

令和5年度「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業の  
助成テーマ・研究者グループが決定！

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、只見町の自然環境・生物多様性、歴史、民俗、産業に関する調査研究をおこなう研究者に対して助成し、それらの価値を科学的にあきらかにすることで「自然首都・只見」ブランドの向上をめざすものです。さらに、各研究機関との交流の推進、研究成果の活用も期待されます。今年度は、審査の結果、下記の5件について助成を行うことが決定しました。

No.	研究テーマ	助成研究者 代表	所属
1	アカミノアブラチャンの遺伝的特徴の解明と増殖技術の確立	森口 喜成	新潟大学 農学部
2	只見町における一般家庭の薪エネルギー活用の経済効果とCO2削減効果の評価	大橋 慎太郎	新潟大学 農学部
3	環境DNAメタバーコーディング解析で読み解く只見町の魚類多様性	村上 弘章	東北大学大学院 農学研究科 水産資源生態学分野
4	只見町の民具における使用木材種の体系化と利用	井田 秀行	信州大学 教育学部
5	モザイク植生は動物進化のゆりかご：只見町固有陸産貝類を例とした実証	石井 康人	東北大学 理学物 生物学科

なお、助成研究者は、只見町ブナセンターと連携して調査研究をおこないます。町内で只見町ブナセンターの腕章・ロゴを付けた研究者や車両を見かけましたら、本事業による調査中ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

年度内には研究成果発表会を開催する予定です。

【お問合せ】 只見町役場交流推進課ユネスコエコパーク推進係 0241(82)5963